

こんにちは!戸田の会です。

戸田市議会会派 戸田の会レポート Vol.18(2022年1月発行)



新年早々、コロナ第6波が現実のものとなり、感染者数は第5波の2倍を優に超え、さらに勢いを増しています。戸田の会では、第6波への備えとして、検査数拡大、ワクチン3回目の迅速な接種、施設における感染対策などに取り組んできました。

さて、戸田市民の生活に大きな影響のある戸田市長選挙が3月20日に迫っています。任期の4年間でふりかえり、戸田市の未来を考える機会にして頂ければ幸いです。引き続き、ご意見や会派モニターへのご応募もお待ちしています。

川岸大型物流施設、事故防止を最優先に！

川岸2丁目に建設予定の大型物流施設について、安全や生活環境への不安が広がっています。川岸地区は工場が多く、ここ1年間で3件もの交通死亡事故が発生しており、安全面への不安は当然といえます。

現在は「紛争調整委員会」の制度を使い、住民と事業者が施設設計について話し合っていますが、道路の安全は戸田市の役目です。これからは、安全面の当事者である戸田市が積極的に関わることで、建設的な話し合いがなされ、戸田市・住民・事業者の3者にメリットが生まれると考えます。



▲現場は登下校時、多数の小学生が通行

- 1 戸田市がリーダーシップを取り、安全を確保すべし
- 2 緑地帯の撤去、電柱の地中化等の手段を検討し、歩車道分離の徹底、道路幅の拡幅、運転手の見通し確保といった対策を徹底的に行う一方、事業者への整備コスト負担を求めるべし
- 3 予備調査を積極的に行うべし(例:現状の渋滞調査、大型トラックの入出庫時におけるはみ出し(オーバーハング)の实地試験、建設後の交通シミュレーションによる予測等)

戸田の会としては、引き続き地域の皆様の声を聞き、今後起こりうるあらゆる状況を想定しながらも今できることを検討し、会派一丸となって提言を続けてまいります。



さかいいくろう 酒井郁郎

代表・無所属・4期
1975年3月4日生
【経歴】東京大学
医学部卒業・修了、
マッキンゼー(経営
コンサルタント)、
㈱ポピンズ(保育)、
医学教育事業

コロナ対策 幼保園・小中学校の対 策は不十分!

市内の子育て施設で、保健所に検査対象者と判定されていない児童の中から多くの感染者が確認されています。保健所の基準が不十分なのは明らかであり、戸田市で独自に検査すべきです。「実際に多くの感染者がでていのに対策をとらないのでは、戸田市の保健行政への信頼を根本から揺るがしかねない」と迫りましたが、市当局の「これまで通り保健所の判断に基づき実施する」との見解を変えることはできませんでした。

子育て支援 これなら増税ナシで可 処分所得1万円増実現!

「同じ目的の政策であっても、より有意義なものに切り替える」努力を積み重ねることで、住民サービスは向上し、生活の改善を実感できるようになります。そのような自治体は栄えて住民は幸せを味わい、そうでない自治体は衰退していくでしょう。今回は、市の病児・病後児保育事業、こども医療費助成事業を効率化することで、子育て世帯の可処分所得を年間1万円以上増やす政策パッケージを提案しました。

2期目出馬の決意は？ 市民と対話の継続を望む

【背景】3月20日、投開票の戸田市長選挙を控えている。青年市長誕生に沸いた4年前から台風の浸水やコロナ感染症の流行により市民生活は様変わりした。

浅生 ①市長公約の成果とやり残したことは。②新たな課題と今後の取組は。③次期市長選挙について、2期目の出馬に向けた自身の決意は。

市長 ①公約68項目の達成率は95.6%となる予定。



具体的には小中学校体育館へのエアコン設置、保育園待機児童ゼロ、見守り防犯カメラ300台設置、公民連携窓口などがある。一方、シルバーパス発行は未達成であり、浸水対策は計画通りであるが、道半ばである。

②共創によるまちづくりを進めるとともに、SDGsの達成に向け「誰一人取り残さない」社会の実現に向け取り組んでいく。
③「このまちで良かった」と感じられるまちづくりに全身全霊をささげていく決意である。来る市長選挙において、本市のかじ取り役として責任を果たすべく、新たな公約を掲げて立候補する。



あそうかずひで 浅生和英

幹事長・無所属・2期
【経歴】法政大学
卒業、山一証券、
美容室VASE
【資格】社会福祉士
精神保健福祉士
美容師、防災士、
4級アマチュア無線技士



さとうたかのぶ 佐藤太信

無所属・2期
【経歴】中央大学、
大正大学院卒業・
修了、東京電力㈱、
児童福祉施設乳幼
児教育相談、スク
ールカウンセラー
【資格】臨床心理士

視覚障害の情報保障を!

佐藤 私達が目にしている広報戸田市。視覚障害者は音訳CD、拡大文字、音声読み上げソフトなど様々なツールを活用して情報を得ています。しかし、音訳化される情報はごく一部で、取捨選択できるほど市の情報が入るわけではありません。今回の質問で、①音訳CDなど視覚障害者向けの情報一覧を広報誌やホームページ、関係窓口で周知することや、②1回みの日常生活用具(スクリーンリーダー等)の給付回数を、耐用年数など考慮して見直していただけることになりました。

新たな財源の創出を!

佐藤 今後の人口減少・税収減を見据え、市民サービスの更なる充実を図るには、財源確保の意識が必要です。そこで、①野良猫の不妊・去勢手術クラウドファンディング、②企業広告を活用した「遊び場スポット」パンフレット作成、③庁用車・マンホールによる企業広告などを提案しました。若手職員のアイデアや部局を超えた新規の取組みなど、全庁的に財源確保の意識が醸成されることを期待します。





やざわはるか 矢沢青河

無所属・2期
1986年5月21日生
【経歴】鹿児島大学卒業、FM放送局、埼玉県議秘書7年(菅原文仁現市長)
【所属】消防団(第七分団)、防災士

プラごみのリサイクルは本当に効果があるの？

市内のプラごみの44%は焼却されます。リサイクルは37%で費用は1t約5万円です。(民間負担ですがPETの20倍以上)

戸田市収集	衛生センター	容器包装リサイクル協会
プラごみ(1219t) PET・プラ・雑紙収集7362万円	資源56%(681t) 焼却44%(538t) 分別専属5名	市再商品化37%(485t) 全国引取合計65万t、その内再商品化委託44万t、349億円

廃プラスチック 約500万t	物質	海外:9.3%(79万t) 国内:12.4%(106万t)	再商品化単価 PET約2千円/t プラ約5万円/t
	化学	3.2%(27万t)	
	熱	60.5%(514万t)	
	単純焼却	8.2%(70万t)	
埋め立て		6.4%(54万t)	

プラごみのリサイクルには、分別や収集運搬の手間、多額の税金や資源がかかるため、プラごみ分別を廃止し最新の焼却炉による熱リサイクルに切り替える自治体も多くあります。また物質リサイクルは以前、海外頼りでしたが、2017年の中国の規制で輸出が激減。処理環境が未整備の東南アジア等へ輸出され環境汚染に繋がった他、国内滞留が激増しました。令和4年の法律施行で国はプラごみの更なる分別徹底を自治体へ求めています。ごみ問題の根本解決はリサイクルでは困難です。議会にて、現状のプラごみ処理の見直しと「ごみ減量化」の徹底を求めました。

学校運営協議会の理想的組織体系を提案！

野澤 学校運営協議会の現状と今後は。
教育委員会 学校は、協議会の主体的な意見や支援が必要。今、各協議会が自立自走を始めている。今後、持続可能な協議

会の体制整備と委員の資質向上を図る。

野澤 委員の積極的参画意識は。

教育委員会 研修会等を通じて、学校評議委員との違いや本制度の意義、背景等の理解を深め、主体的参画意識に努める。

野澤 学校応援団・PTA・地域連携は。

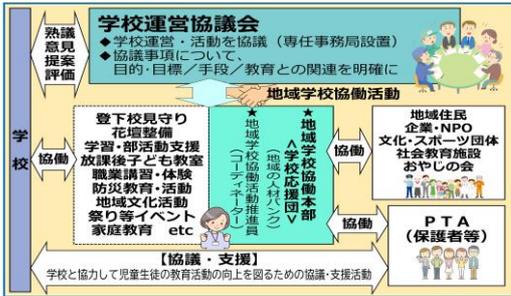
教育委員会 「地域とともにある学校」へ向けて、学校運営協議会と学校応援団の緩やかな連携が必要。また、PTAや地域と円滑に連携できるよう活動を支援する。

野澤 教職員の負担軽減を含めての学校支援であり、地域活性化の一大事業ともいえる学校運営協議会の、今後に向けての組織体系を提案する。



のざわしげまさ 野澤茂雅

無所属・1期
【経歴】東京理科大学卒、システムエンジニア、IT企業経営
【議会】市民生活、議会広報等
【その他】小中PTA会長、町会副会長



みやうちそうこ 宮内奏子

無所属・1期
【経歴】慶應大学文学部英米文学科卒業、翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務後独立
【資格】英検1級、TOEIC970点

内水氾濫への対策と情報提供を！

宮内 令和元年の台風19号により、戸田市内で実際に起こったのは、下水道の逆流や中小河川・ボートコースの溢水などの内水氾濫である。荒川氾濫(外水)への対策だけではなく、内水氾濫に対するマイ・タイムライン*の作成啓発や適切な情報提供こそが重要と考えるが、市の考えは？



水安全部 内水氾濫に関しては、荒川氾濫のマイ・タイムラインを参考にして欲しい。

宮内 台風19号の水害を踏まえ、今後のアナウンス方法をさらに強化すべきと考えるが、市の見解は？

水安全部 今後のアナウンス方法は、広報車による巡回広報等も想定している。

宮内 荒川氾濫への対策もちろん重要であるが、内水氾濫マイ・タイムラインの作成啓発や適切な情報提供も強く要望する。

洪水時の避難計画「マイ・タイムライン」



*マイ・タイムラインとは台風などの接近により河川の水位が上昇するときに、自分がどう行動するかをあらかじめ時系列で整理した一人一人の防災計画

活動報告

議会外での活動や市民の皆様から頂いたご意見対応の一端をご報告いたします。

勉強会「孤立無援の子どもに支援を！」

現役の生活指導の先生から貧困や不登校、ヤングケアラー等の実態を伺い、意見交換しました。ここ10年間で虐待は4倍と子どもを取り巻く環境は激変しています。戸田の会は、学校・行政・地域の連携、福祉専門職の予算増などに取り組みます。



埼玉県発達障害総合支援センター視察

保護者の悩み相談、発達を促す体験型の療育研修等の役割を担っています。本市としては、就労を含む発達障害に関する支援がまだ十分とはいえないため、市における支援体制の確立、適切な助言ができる人材の育成や親への支援などにも繋げてまいります。



お寄せいただいたご意見

Q 無電柱の地上機器が浸水する恐れは？

A 地上の変圧器は50cm程の浸水で停電する恐れがあるため、浸水の多い地域での高所配置や防水対策を要望しました。



▲変圧器

Q 上戸田川の浸水対策は？

A 現在、「降水量30mm/時」対応への上流整備の他、川底の浚渫、迂回排水路による負担分散、流域内の北大通りへ雨水貯留管(貯留量2.6万m³)設置など、あらゆる浸水対策を進めています。

Q 歩道に起伏が多く車椅子通行が困難。

A 戸田駅南の市役所通りの歩道は狭く、車両出入口による起伏も多いため、車椅子やベビーカーは道路を通行せざるを得ません。戸田駅南は区画整理で解消されますが、早急な対策が困難な地域も多く、引き続き改善に取り組みます。



▲戸田駅南の市役所通り

会派モニターアンケート

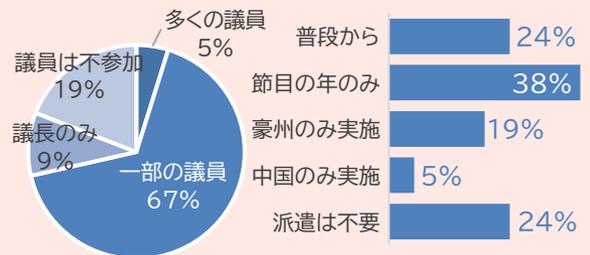
戸田の会モニターの皆様にも、初めてのアンケートを実施しました。結果の一部を報告いたします！

「海外友好都市への議員派遣」について。

派遣する人数は「多くの議員」ではなく「一部の議員が参加」という意見が大部分となりました。かつての戸田市議会のような大人数の参加への理解は得られないことが分かります。

議員派遣の目的については「節目の年のみ」という回答が最多となり、「派遣は不要」と合わせて6割強となりました。また、オーストラリアと相互派遣を行うべき、という回答が中国の4倍となったのも興味深い結果です。

①派遣の参加者は？ ②派遣の頻度や目的は？



「フリーコメント」のご意見について。

「ウォーキングコースの設置を(5件)」、「気軽に使えるスポーツジムを(4件)」、「ボールの使える公園を(3件)」などのご意見が多く寄せられました。

コロナ禍、運動不足解消や免疫力を高めるため、ウォーキングなどの誰でも無理なく気軽にできる運動の需要が高まっていると感じます。「戸田の会」としても、子どもから高齢者まで、全世代が運動しやすい環境づくりを重点政策に加え、取り組んでまいります。



～戸田の会は、引き続きモニターさんを募集しています～

あなたの声が
戸田を変える！

戸田の会モニター募集！

- ◆年に数回程度、短いアンケートにお答えください。
- ◆ご依頼はメールでお知らせし、スマホ等でお答えください。
- ◆回答は義務ではありません。可能な範囲でお答えください。

①ホームページ todanokai.com

②メール info@todanokai.com

③電話・FAX 048(871)6391

④郵送 〒335-0034 戸田市笹目5-4-15

